

株式会社ブロードバンドタワー

～平成21年6月期第3四半期決算ハイライト～



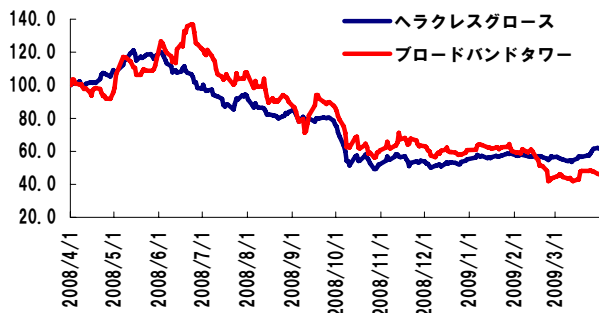
【会社概要】

商号 株式会社ブロードバンドタワー
BroadBand Tower, Inc.
URL <http://www.bbtower.co.jp/>
代表者 大和 敏彦
設立 2000年2月
上場市場 大阪証券取引所 ヘラクレス市場
証券コード：3776
上場日 2005年8月
業種 情報・通信業
決算月 6月
連結子会社 株式会社ビービーエフ

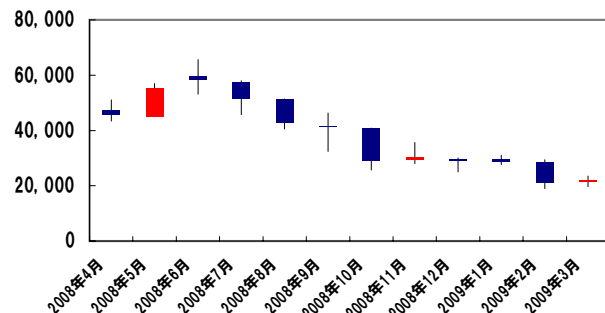
【株式データ】 (平成21年3月31日時点)

発行済株式数 98,035株 (自己株式を含む)
株価 21,950円
時価総額 21億円
株価収益率 10.4倍 (株価÷1株利益)
純資産倍率 0.33倍 (株価÷1株純資産)
単元株数 1株
配当 —
※1株利益・1株純資産は08年6月期決算数値を使用

<株価指標推移> ※2008年4月1日を100として指数化



<株価推移> ※期間 (2008年4月～2009年3月)



【21/6期3Q決算概要】 (20年7月～21年3月)

単位：百万円

| | 20/6 3Q | 21/6 3Q | 21/6(予)* |
|---------|----------|------------|------------|
| 売上高 | 7,241 | 7,657 | 10,610 |
| 営業利益 | 256 | 173 | 260 |
| 経常利益 | 253 | 170 | 240 |
| 当期純利益 | 157 | △ 873 | △ 860 |
| 1株利益(円) | 1,732.24 | △ 9,579.62 | △ 9,435.31 |

※平成21年2月12日に21/6期業績予想を当初予想より修正

【売上高・利益】

コンピュータプラットフォーム事業は、当社サイトでの顧客獲得およびフレックスホスティングサービスの販売加速・サービスラインアップ追加に加え、ストレージ機器販売の拡大により、売上高は6,707百万円 (前年同期比0.4%増) となりました。一方利益については、徹底した業務効率化によるコスト削減や関西サイトの減損損失に伴う減価償却費低減などにより一定の成果はありましたが、データセンターに供給される電気代単価の上昇による費用の増加などが影響し、営業利益は114百万円 (同51.2%減) となりました。Eコマースプラットフォーム事業は、連結子会社ビービーエフによるアパレル企業向けECシステム構築支援・運用サービスが好調に推移しています。資本提携先の三井物産との協力体制強化により、取り扱いブランド数を大幅に増やし、新規顧客の獲得及び既存顧客サイトでのEC販売額は順調に伸長しております。また、ブランド商品に限定したアウトレット販売のサイト運営を展開するなど新たなサービスラインアップの充実を図り、事業拡大に努めた結果、売上高は949百万円 (同68.4%増)、営業利益は58百万円 (同235.8%増) となりました。以上の事業活動の結果、当第3四半期累計期間における当社グループの売上高は7,657百万円 (同5.7%増)、営業利益は173百万円 (同32.5%減)、経常利益は170百万円 (同32.6%減) となりました。なお、四半期純利益は△873百万円となりました。これは、関西地区にあるデータセンター (関西サイト) 固定資産について、第2四半期において減損損失1,223百万円を特別損失に計上したことによるものです。

【第3四半期 (20年7月～21年3月) トピックス】

<市場規模>

IDCJapanの調査によると、世界経済危機によるデータセンター市場への影響は小さいとしている。経費抑制圧力が強まっているものの、企業がデータセンターに委託しているシステム運用規模を急激に減少させる可能性は少なく、むしろ既存システムの自社運用にかかるコストを抑制するために外部のデータセンターサービスの利用は堅調に拡大すると見込まれている。

<関西サイト>

新たな販売チャネルの獲得を目指し、関西地区の地場企業との販売協業を交渉中。

<環境>

iDC業界初の取り組みとして、カーボンオフセットプロバイダー大手であるリサイクルワンおよびオリックス環境と提携し、4月1日より全ての主要サービスのオプションメニューとして、カーボンオフセットサービスを提供開始。